



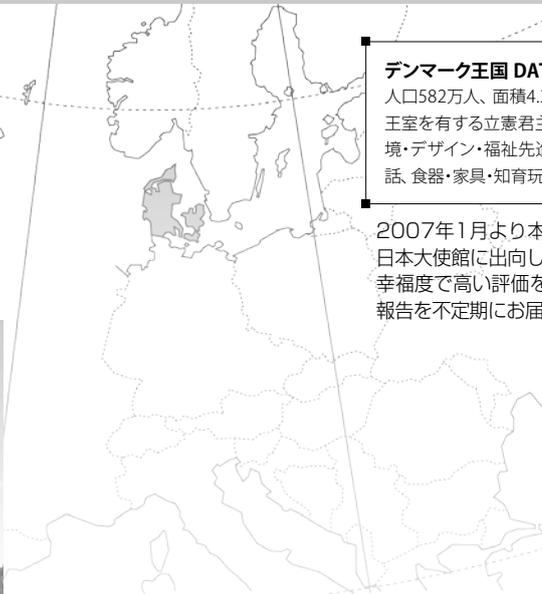
デンマーク王国 DATA

人口582万人、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

2007年1月より本会事務局職員が在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度で高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。



珍しく晴れた冬の日のコペンハーゲン市庁舎



小林 功人

在デンマーク日本大使館二等書記官
(経済同友会事務局より出向中)

日本への土産物

～デンマーク人の程よくオープンで温かい心～

デンマーク人の移動手段は多種多様です。歩道と車道の間の自転車専用レーンを走るのは、通常のシティバイクだけではありません。子ども(時には大人)を乗せて走っているクリスチャニアバイク(三輪カーゴバイク)、レンタルの電動キックボード(アプリ経由でロック解除、乗り捨て可)、ローラーブレード、スケートボード、最近では電動一輪車など、何でもありです。電動一輪車はまだ珍しく、通行人も興味深そうに視線を送っていますが、当の彼らは周囲の目を気にする素振りもなく自分の好きな手段で通勤通学をはじめとする移動を楽しんでいます。

また、近所のパン屋に行けば、レジのお姉さんに「そのマフラー良いね、どこで買ったの?」と声を掛けられ、電車に乗れば、チケット確認に来た鉄道スタッフと乗客とが意気投合して数分間話し込み、ハイタッチまでして別れる様子を見かけます(元からの知人ではなさそうでした)。ホームレスと談笑する人が、キャッシュレス大国デンマークらしく、モバイルペイでお金をお裾分けする光景も日常的に目にします。

デンマーク人は頻繁に自国のことを「人口580万人の小

さな国にすぎない」と紹介します。その程よい規模ゆえに、他人同士の信頼関係に基づきいわゆる「田舎らしさ」によって、人と人との距離が近く、温かい街の雰囲気創り上げられているのだと思います。ひとたび日本で過ごした自身の生活に思いを馳せてみると、何事も周囲の目を気にして心理的に窮屈で、街中で他人と気軽に会話するという心の余裕を忘れていたような気がします。だからこそなのか、デンマークで感じた安心感のようなものは非常に居心地よく感じました。

早いもので、私は2021年1月末で当地での2年間の任期を終え、日本の親元企業へ戻ります。何事も肩肘張らず気楽に楽しむデンマーク人のオープンな心、信頼に基づいた心理的距離の近さがもたらす温かい街の雰囲気が、私の初めての海外生活を縁の下から支えてくれました。優れたデンマークデザインの家具や食器だけでなく、デンマーク人の心も、日本への大切な土産物として忘れずに持って帰りたいと思います。そしてこれからは、私自身、デンマークファンの一員として、微力ながら日デンマーク関係の発展に貢献していく所存です。これまで私の拙い文章にお付き合いいただいた読者の皆さまにこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。